

## ギニア月報(2022年8月)

### 主な出来事

#### 【内政】

- 1日、法務・人権省は、7月28－29日のデモで5名が死亡した他多くの治安部隊員及び市民が負傷した旨発表。
- 20日、市民団体である護憲国民戦線(FNDC)は、29日及び9月4日にコナクリ大首都圏で、9月5日に全国でのデモ実施を呼びかけた。
- 22日、病氣療養中のベアヴォギ首相に替わり、グム暫定首相兼商業・産業・中小企業大臣が正式に首相に任命された。また、併せて内閣の一部改造が発表された。
- 24日、ボニ・ヤイ ECOWAS 調停者、外交団、政党・労働組合関係者が出席する中、暫定国民委員会(CNT)最終報告書がドゥンブヤ大佐(暫定大統領)に提出された。

#### 【外政】

- 22－26日、ボニ・ヤイ ECOWAS 調停者はギニアを訪問し、暫定政府、野党、市民社会及び外交団等関係者と面会。

#### 【経済(経済協力含む)】

- 18日、シマンドゥ鉱山開発に関し、既に鉄道敷設、トンネル開通、モリバヤ港建設等大規模な工事を実施した Winning Consortium Simandou(WCS)は、活動を再開するに当たり、活動停止が命令されない保証をギニア暫定政府に求めており、交渉が難航中。
- 26日、暫定国民委員会(CNT)は、アラブ諸国からの農薬や種子等の輸入のための融資協定締結を承認する法律を採択。

### 1 内政

- ・ 1日、野党連合 ANAD は、国民結集発展委員会(CNRD)によるデモを呼びかけた護憲国民戦線(FNDC)幹部の逮捕・投獄を非難し、FNDC 等によるデモを支持する声明を発表した。
- ・ 1日、7月28－29日のデモで逮捕され、「集会への暴力的な参加」の罪に問われている FNDC 幹部の裁判が、コナクリ市ディクシン第一審裁判所で開始された。
- ・ 1日、法務・人権省は、7月28－29日のデモで5名が死亡した他多くの治安部隊員及び市民が負傷した旨発表した。
- ・ 8日、ドゥンブヤ大佐はアマラ・カマラ暫定大統領府長官及びソウ・インフラ運輸大臣と中国系企業が工事を進めるカベレンとKM36の環状交差点を訪問し、工事の進捗を確認した。
- ・ 7月24日、アマラ・カマラ暫定大統領府長官は、適切な税金を納めていないとして、国営宝くじ会社「ロナギ」及びギネ・ゲームズの閉鎖を命じた。これにより25,000名以上の失業者が発生と予想されている。
- ・ 12日、ギニア暫定政府は、テレミレ県におけるサントウのポーキサイト開発に係る入札情報を開示し、入札を呼びかけた。
- ・ 13日、ギニア暫定政府は、警察と市民保護の海外研修をするギニア人研修生への奨学金

増額を発表した。毎月の支給額は研修の種類により80-120ドルである。

- ・ 15日、ボケ県とボファ県の上に位置するコラブイで、電気がないことに不満を持つ数百人の女性たちが、ボーキサイトを積んだ列車の通行を阻むため、鉄道にバリケードを築いた。コラブイに電力を供給している「グローバル・エネルギー」社は、ギニア暫定政府には30億ギニアフラン以上の滞納金があり、支払われるまで電力を止めた旨述べた。
- ・ 17日、ドンカ病院の修繕及び拡張の完工式が実施され、ドゥンブヤ大佐(暫定大統領)、ディアロ保健大臣、国際機関及び外交団代表者等が出席した。総工費は7,200万ドル以上で、完成に7年かかった。
- ・ 20日、野党 FNDC は、29日及び9月4日にコナクリ大首都圏で、9月5日に全国でのデモ実施を呼びかけた。
- ・ 21日、カマラ元大臣・元国家独立選挙委員会(CENI)委員長は、経済・財政犯罪に関する行政裁判所(CRIEF)での裁判を経ることなく、獄中で死亡した。
- ・ 22日、病氣療養の名目で国外に滞在するベアヴォギ首相に替わり、グム商業・産業・中小企業大臣が新たに首相に任命された。内閣改造が行われ、スマー国税庁職員がエネルギー・水利・炭化水素大臣に、バングラ陸軍副参謀長が都市化・住居・国土整備大臣に新たに任命された。
- ・ 22日、CRIEF は、ナベ前ギニア中央銀行総裁に対し、100億ギニアフランの支払いと引き換えに保釈を認めた。
- ・ 24日、ボニ・ヤイ ECOWAS 調停者、外交団、政党・労働組合関係者が出席する中、暫定国民委員会(CNT)最終報告書がドゥンブヤ大佐(暫定大統領)に提出された。
- ・ 24日、CNT は、今年度の学校卒業試験の結果悪化を受けて、教育の質の低さの原因及び改善策に関し、意見交換を実施した。原因として教員の質、特に指導言語であるフランス語の習得度の低さ、家庭と学校の連携の弱さ等が挙げられた。
- ・ 26日、バリー農業・畜産大臣は、ギニアは年間3億ドルかけて米を輸入している旨述べた。
- ・ 27日、ドゥンブヤ大佐(暫定大統領)は、役員の公金不正利用や横領を理由に、9つのコミュニケーションの解体を発表した。
- ・ 27日、FNDC は、ECOWAS と協議後、29日及び9月4日に呼びかけていたデモの中止を発表した。
- ・ 29日、ハウイング中等教育・識字教育大臣は、10月4日の新学期開始に向け、ギニア暫定政府が教員に対する研修と540教室の改修・増築を進めている旨述べた。また、不足している教員数は、初等教育で約1万5千人、中等教育で約4,000人である。
- ・ 30日、ライト法務・人権大臣は、CRIEF に起訴・収容されている前コンデ政権の高官と面会し、カマラ前国民議会議長、フォファナ前首相、ディアネ前国防大臣他は、妥当な期間内の裁判の実施を要請した。
- ・ 30日、UNICEF は、ギニアにおける5歳未満の子どもの急性栄養失調率は9%で、その内4%が重度の急性栄養失調であり、2022年中に20万人近くの子どもの急性栄養失

調に苦しむと予想され、最も影響を受ける地域は、コナクリ(53, 000人)、カンカン(51, 300人)、キンディア(48, 750人)、ンゼレコレ(38, 500人)である。

## 2 外交

- ・ 1日、ドゥンブヤ大佐(暫定大統領)及びクヤテ外相は、7月28-29日に実施された野党によるデモで、治安部隊が殺傷能力のある武器を使用した旨批判したG5の大使(国連システム常駐調整官舎)と面会し、軍隊を動員したのは市民を守るためであった旨説明した。
- ・ 7日、マリ代表団がギニア側と面会し、二国間の協力、特にコナクリからカンカン、マンディアナ、ブグーニを経由してバマコを結ぶ1, 085kmの鉄道敷設事業に関し協議が行われた。
- ・ 13日、マリ代表団は、マリ税関当局がコナクリ港経由でマリから輸出される綿等の商品の流れに対応するため、アルバイヤックグループの子会社アルポート・コナクリ社の施設を視察した。
- ・ 22-26日、ボニ・ヤイ ECOWAS 調停者はギニアを訪問し、暫定政府、野党、市民社会及び外交団等関係者と面会した。
- ・ 23日、クヤテ外相及びフォンセカ IOM ギニア事務所所長他は、EU・IOM 共同の「アフリカ緊急信託基金」の構想に基づき、移民の流れのより良い管理とデータ収集を目的としたワークショップに出席した。

## 3 経済(経済協力含む)

- ・ 2日、コナクリ市内のガマル・アブデル・ナセル大学で、ロシア系鉱山企業 RUSAL がギニア人医学生向けに提供する奨学金の試験が実施された。本奨学金では、ギニア人学生50名がロシアの大学へ無料で留学でき、渡航費・生活費等も支給される。
- ・ 2日、テレミレ県でボーキサイト採掘活動を行う中国系企業SMBのギニア人労働者は、労働条件の改善を求め、ストライキの実施を決定した。同社幹部は、通知のないストライキ実施は労働基準法違反であるとした。
- ・ 10日、CNT で、2021年9月4日にギニアとイスラム開発銀行の間で締結された新型コロナウイルスワクチン取得に係る融資契約が採択された。これは、9月5日発生した政変により採択が延期されていたもので、ディアロ保健・公衆衛生大臣は、「ギニアの新型コロナワクチン接種率は20%程度であるが、西アフリカ保健機関が設定した目標(30-35%)及びWHOが設定した目標(70%)を目指す」と述べ、採択の正当性を主張した。
- ・ 10日、中国系鉱山開発企業の SMB-Winning コンソーシアムは、鉱山開発による環境及び気候変動への影響を軽減し、動植物の豊かな自然環境を守るため、ボーキサイト採掘活動を行ったボケ県タビス郡において、6, 000本の植林事業を開始した。
- ・ 11日、ボファで活動する中国系鉱山開発企業である CHALCO は、タバスキに際して同社の鉱山活動による影響を受けている地域住民に米や油等の食料品を供与した。
- ・ 18日、シマンドウ鉱山開発に関し、既に鉄道の敷設、トンネルの開通、モリバヤ港建設等大

規模な工事を実施した Winning Consortium Simandou (WCS)は、活動を再開するに当たり、活動停止が命令されないという保証をギニア暫定政府に求めており、交渉が難航している。

- ・ 26日、CNT は、アラブ諸国からの農薬や種子等の輸入のための融資協定締結を承認する法律を採択した。本融資協定は、7月1日にアラブ・アフリカ経済開発銀行 (BADEA)とギニアの間で締結され、金額は5, 500万ドルである。
- ・ 31日、グム首相及びマガッスバ鉱山・地質大臣は、当地で鉱山採掘活動を行う関係者に対し、ギニア暫定政府の鉱山分野に対するコミットメントを表明し、改めて社会・環境等、ギニアのコミュニティにもたらされる恩恵を考慮するよう呼びかけた。